

第15回KIHS心理臨床ワークショップ

MUSIC lets you feel, MUSIC lets you express

— 音楽療法とはなにか —



- 日時： 2017年10月28日(土) 13:30~15:30
会場： 甲南大学人間科学研究所(甲南大学18号館)
企画： 大澤香織(甲南大学文学部・人間科学研究所/臨床心理学)
講師： 北脇 歩(洛和会京都音楽療法研究センター)
柴田恵美(洛和会京都音楽療法研究センター)
安達紗代(洛和会京都音楽療法研究センター)
共催： 甲南大学心理臨床カウンセリングルーム
対象： 音楽療法の理論や技法について学び、現場で活用したいと考えて
いらっしゃる専門職の方(保育士等)、学生・大学院生。
定員： 20名
参加費： 2000円(学生・大学院生は1000円)(当日受付にて徴収します)

ワークショップ趣旨

人間科学研究所における子育て・発達支援、心理臨床を主題とした研究・実践では、地域連携、多職種連携が欠かせません(研究事業の詳細はウェブサイトをご参照ください)。本ワークショップは、その地域連携、多職種連携が円滑に実現できるよう、心理臨床に関わる対人援助技法の理論やノウハウをさまざまな職種の方々と共有することを目的に企画いたしました。今回は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に活用されている「音楽療法」をテーマに、国内外での臨床経験が豊富な音楽療法士の先生方をお招きして、音楽療法の理論と技法について実習を通じてご教授いただきます。音楽療法をもっと詳しく学び、現場での実践に役立てたい方のみならず、音楽療法に関心がある初学者の方、学生さんにも受講して頂きます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

甲南大学人間科学研究所
所長 北川 恵

プログラム

10月28日

受 付 13:15 ~ 13:30

講 義 13:30 ~ 14:20 「音楽療法の歴史・理論・技法教示」

(北脇歩先生)

休 憩 14:20 ~ 14:30

実 習 14:30 ~ 15:20

(柴田恵美先生・安達紗代先生)

まとめと質疑 15:20 ~ 15:30

<ワークショップの目的と概要>

音楽療法とはどのようなセラピーなのでしょう。日本音楽療法学会は『音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること』と定義づけています。音楽は私たちの身体・心・精神に、ポジティブにもネガティブにも影響することが考えられるため、音楽を用いた臨床には、対象者のニーズの為に、正しい知識を持ち必要なトレーニングを終えた専門家によって適切に行われる必要があります。

音楽療法は学術的な領域であり、心理や教育、福祉、医療などの分野と深く関わっています。学会認定による音楽療法プログラムとトレーニングを修了した認定音楽療法士により、対象者との療法的関係の中で、数ある生理学的・心理学的・社会学的・音楽療法的研究のエビデンスをもとに、あらゆる年齢や状況にある全ての人々の多岐にわたるニーズに向けて、音楽の持つ力を利用しながら個々の臨床目標達成へとつなげます。

本研修会では、音楽療法の歴史や理論、臨床法、ケーススタディー等を通じて、総合的にご理解いただき、また、経験豊かな音楽療法士によるワークショップにて、実際の音楽療法体験から音楽療法への理解を深めていただくことを目指します。

北脇 歩・柴田恵美・安達紗代

講師紹介

北脇 歩（きたわき・あゆむ）

音楽療法士（米国認定、日本音楽療法学会認定）。洛和会ヘルスケアシステム専任音楽療法士。米国ミシガン州立大学音楽療法修士課程修了。専門はホスピス・緩和ケア。

米国にて10年以上にわたり臨床実施。同時にインターン実習のスーパーヴィジョンを行う。臨床領域は、乳幼児・障がい者・高齢者・リハビリテーション・緩和ケアなど。京都女子大学非常勤講師（音楽療法）。日本音楽療法学会近畿支部事務局員。

論文『家族を含む末期癌患者への音楽療法とその相乗効果』(2017年)、『The Effectiveness of Music Therapy Involving Family Members of Terminally Ill Patients in Hospice on Quality of Life of the Patient and Stress Levels of Family Members』(2007年)など。これまでに米国・日本国内の関連学会などにおいて、講習講義、口頭発表、講演活動を多数行う。研究テーマ『ホスピス患者への音楽家族療法』、『急性期病棟における環境音楽療法の応用』。

柴田恵美（しばた・えみ）

音楽療法士（日本音楽療法学会認定）。洛和会ヘルスケアシステム専任音楽療法士。同志社女子大学学芸学部音楽学科音楽療法コース卒業、中学・高等学校教諭（音楽）、厚生労働省認定社会福祉主事任用資格。

臨床経験は10年以上となり、臨床領域は、乳幼児・障がい者・高齢者・リハビリテーション・緩和ケアと多岐にわたる。即興音楽を中心としたノードフ・ロビンズ音楽療法（創造的音楽療法）のアプローチを主に実践。2009年にはニューヨーク大学ノードフ・ロビンズ音楽療法センターにて研修およびスーパーヴィジョンを受ける。

著作『たからもの～音楽療法のための楽譜集』（共著：マザーアース、2010年）、『たからもの2～音楽療法のための楽譜集』（共著：同志社女子大学、2013年）。同志社ローム記念館大賞・優秀賞『音楽療法の“宝物”・発信プロジェクト』（2013年）。研究テーマ『パーキンソン病における音楽療法を通じた運動動作への効果』。

安達紗代（あだち・さよ）

音楽療法士（日本音楽療法学会認定）。洛和会ヘルスケアシステム専任音楽療法士。同志社女子大学学芸学部音楽学科音楽療法コース卒業、高等学校教諭（音楽）、厚生労働省認定社会福祉主事任用資格。

乳幼児・重度心身障がい者・高齢者・リハビリテーション・緩和ケアでの臨床を、主にノードフ・ロビンス音楽療法のアプローチにて実践している。2015年、アメリカ・ニューヨークのマウントサイナイ病院・ルイアームストロング音楽医療センターにて音楽療法の研修を受ける。

著作『たからもの2～音楽療法のための楽譜集』（共著：同志社女子大学、2013年）。学会口頭発表『施設で過ごすA氏が取り戻した積極性～ベルの即興演奏を通して～』（日本音楽療法学会学術大会、2015年）、『The Effectiveness of Environmental Music Therapy on Acute Care Unit Staff』（World Congress of Music Therapy、2017年）など。現在『環境音楽療法の効果』について研究。

申込方法

メールにてお申し込みください

件名を「ワークショップ参加申し込み」とし、本文に①氏名、②ご住所、③年齢、④職業(学生の場合は学校名、学年)をご記入の上、下記アドレスまでお送りください。

kihs_info@yahoo.co.jp ※締切は2017年10月18日(水)です

参加の可否はメールにてご連絡いたします。

万が一この期間を過ぎても連絡がない場合、お手数ですが当研究所までお問い合わせ願います。

注意 携帯からお申し込みの場合は、上記アドレスの受信許可設定をお願いいたします。

参加費は、当日受付にてお支払いいただきます。

釣銭の必要がないようにご準備ください。

問い合わせ先（メールにてお問い合わせください。）

〒658-8501

神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学人間科学研究所

Mail : kihs_info@yahoo.co.jp

Web : <http://konan-u.ac.jp/kihs/>

会 場

甲南大学18号館3階 甲南大学人間科学研究所 講演室

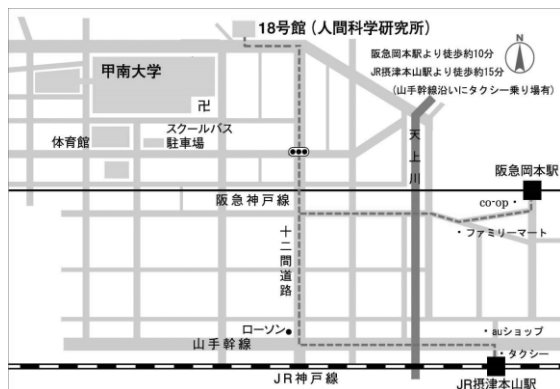
受付：甲南大学18号館3階 講演室

18号館は甲南大学本校舎とは少し離れた場所にありますのでご注意ください。

お車でのご来場はご遠慮ください（特別な事情がある場合は事前にご連絡ください）。

当日の到着が遅れる場合は必ずご一報ください。

やむを得ない事情で参加できなくなった場合も、必ずご連絡をお願いいたします。



甲南大学
人間科学研究所
Konan Institute of Human Sciences
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
Tel / Fax : 078-435-2683
E-mail : kihs@center.konan-u.ac.jp
URL : <http://kihs-konan-univ.org>